

看護における情報提供

—情報提供に関する質問紙調査から—

Information offer in nursing

—From the question paper survey regarding the information offer—

東6階病棟：中野 和美・春日 潤子・長田 万里・近藤 良江
高山 洋子・山田 真理・甕 和美・山村 香織
樋田 敦子・根井きぬ子
信州大学医療技術短期大学部：楊箸 隆哉

〈要 旨〉

患者が意志決定するためには、理解しやすく共有できる情報提供が求められる。そこで、3つの方法を用いて検討した。その結果、ベッドサイドに看護記録を置く方法が3つの方法で最も効果的であった。また、看護婦の情報提供する方法により患者の求める方法も変化した。

今後、より活用できる情報提供の方法を検討していくことが重要である。

〈キーワード〉

情報提供, ベッドサイド記録, 質問紙調査

I. はじめに

近年の動向として、おまかせの医療から、患者が自分で医療を選ぶ時代へと変化してきている。私達は、看護情報を提供し、共同で計画・実施・評価を行うことで患者が健康問題に主体的に取り組むことができると考える。しかし、現在当病棟では、入院時の計画提示に留まっており、看護情報が十分に提供されていない。また、患者が望んでいる情報提供についても明らかでない状況である。そこで、3つの方法で看護情報の提供を行い、その後の質問紙調査をもとに情報提供について検討した。

II. 研究目的

看護情報提供の方法を変えた3群の質問紙調査から、情報提供をしていくための、よりよい方向性を探る。

III. 研究方法

1. 調査期間 平成13年9月～11月
2. 調査対象 看護記録の提示に同意が得られ、クリティカルパス使用の東6階病棟患者56名
3. 調査方法

日本看護協会の「患者への情報提供に関する調査」を参考に、独自に質問紙を作成した。

質問紙内容は、必要と思われる診療情報と方法、プライバシーへの不安を選択肢方式で、無記

名で回答を求めた。同一のアンケートを3群に分け実施した。

1群：パスを渡し、初回のみ看護婦から説明した

2群：パスを渡し、毎日看護婦が内容を患者とともに確認した

3群：2群と同様に確認するとともに、患者がいつでも見られるようにベットサイドに看護記録を置く。

4. 分析方法

看護情報提供の方法やプライバシーに関して χ^2 乗検定を行った。

IV. 結果

1. 対象の背景 〈表1・2・3・4〉

1群—回収率87.5% (16名中14名回答) 男性5名女性9名

2群—回収率84.2% (19名中16名回答) 男性9名女性7名

3群—回収率95.2% (21名中20名回答) 男性14名女性6名

2. 「診療情報のうち知っているもの」 〈図1〉

各群ともに診療録(カルテ)が最も高かった。検査結果や処方箋のつぎに看護記録が知られていた。

3. 「診療情報を得るために必要と思われるものは何か。」 〈図2〉

各群ともに1番に診療録(カルテ)をあげている。次に検査結果, 処方箋, 看護記録であった。看護記録は, 1群13%, 2群20%, 3群15%が必要としていた。診療情報を得るために必要と思われる情報は, 知っているといわれる情報とほぼ同様の傾向であった。

4. 「診療情報提供について希望される方法」 〈図3〉

「口頭による説明だけでよい」は1群7%, 2群19%, 3群10%であり, 「口頭で説明し, 記録のコピーを一緒に付ける」「診療記録を実際に見せながら口頭で説明する」など口頭だけでなく文章などを添えた診療情報提供を希望される方が多かった。

5. 「看護記録にはどのような情報が書かれていると思うか。」 〈図4〉

病状の経過や測定値は, 80%から100%書かれていると思っていた。看護の方針については, 1群57%, 2群68%, 3群75%であり, 看護の評価については1群36%, 2群31%, 3群25%と最も低かった。

6. 「必要と思われる看護情報5つ」 〈図5〉

病状の経過, 測定値, 検査結果, 病状説明, 医師の指示に続いて看護の方針があがり, 看護の評価については, 1群2%, 2群0.4%, 3群2.3%と低かった。

7. 「今までに看護記録を見たことがあるか。」 〈図6〉

「はい」と答えた人が1群14%, 2群43%, 3群55%であった。

8. 「看護記録をみたいと思うか。またその理由は何か。」 〈図7・図8・図9〉

「はい」と答えた人が1群43%, 2群50%, 3群80%と情報提供していくほど見たいと思う人が増えている。見たい理由で最も多いのは, 1群では「自分の訴えや症状についての看護婦の考えを知りたい」が50%, 2群では「検査結果」が38% 3群では35%であった。

看護記録をみなくてもいいと答えた方の理由は, 1群の17%が「知ることで不安になる」をあ

げており、その他は「治療や看護は医師や看護婦に任せている」を理由にしていた。

9. 「看護計画を立てて実施していることを知っているか。」 〈図10〉

1群50%，2群69%，3群65%が知っていた。

10. 「看護計画はどのように立て実施してほしいか。」 〈図11〉

「患者と医師・看護婦が最初から相談し計画を立て実施」は、1群29%，2群0%，3群18%であった。「看護婦が医師と相談して計画を立ててから患者に相談し実施」が1群21%，2群62%，3群46%で、なかには「患者と医師が相談し看護婦が実施する」という意見もあった。

11. 「看護における情報提供（看護計画や看護記録の提供）はどのように行ってほしいか。」 〈図12〉

看護における情報提供については、「患者本人が見たいと言ったときに提示してくれればいい」が1群71%，2群81.2%，3群40%と1群が最も多かった。「ベットサイドに置きいつでも見られるようにあるといい」は、1群21%，2群6.2%，3群60%と3群が最も多く、 χ^2 検定では、3群の間に有意差を認めた。（ $P < 0.01$ ）

12. 「看護計画や看護記録をベットサイドに置き、情報提供した場合、プライバシーの保護の面から不安はありますか。」 〈図13〉

3群と1群は、有意差があり3群のほうが、不安が少ない。（ $P < 0.01$ ）2群と3群では、有意差がなかった。1群と2群は有意差があった。（ $P < 0.05$ ）

13. 「治療計画・看護計画の書かれている用紙をどのように利用したか。」 〈図14〉

「ほぼ毎日みた」は、1群57%，2群38%，3群10%であり、情報提供していくほど用紙をほぼ毎日みる人は少なくなっている。

14. 「用紙に書かれている計画について看護婦と話し合ったことがあるか。」 〈図15〉

「はい」は、1群64%，2群69%，3群50%であった。

15. 「看護婦はあなたの意見や希望を計画に取り入れたか。」 〈図16〉

「はい」が1群79%，2群74%，3群65%であった。

16. 「用紙に書かれてある計画に沿ってケアを行ったか。」 〈図17〉

「はい」は、1群93%，2群81%，3群75%で、「いいえ」との回答はなかった。

17. 「看護婦は計画の内容とその結果について評価する時間を設けたか。」 〈図18〉

「はい」が各群で50%，「いいえ」は1群14%，2群25%，3群25%であった。

18. 「今回の看護における情報提供は、治療や看護計画を知る上で役立ったか。」 〈図19〉

「役立った」は、1群79%，2群80%，3群85%であった。

19. 「診療情報提供についての意見（自由記述）」

第1回目

- ・情報提供や計画を共に立案するのは、ずれの子防になるが知識の差があり難しい。個人差があり開示を受け止められない人もいるのでは。
- ・説明を受けても忘れがちだが、計画書があることで再確認できていい。自分の気持ち（目標）もたてやすい。
- ・入院より手術後の経過がわかり毎日の経過と比較でき不安解消や心の準備ができた。

第2回目

- ・患者としては自分の病状について正確に知るうえで、必要に応じて説明してもらいたい。血

液検査の結果は定期的に提供して欲しい。

- ・自己の病状の実状を知り、診療情報提供により、毎日の治療計画によって自己の回復の実状を知りながら入院生活ができたことは本当に良かった。テレビによれば電子カルテの時代になるとか。
- ・詳細な（過度な）情報提供は患者に不安を与えることもあり、賛成できない。（全治不能の場合でも生きる希望を残してもらいたい人もいる。近親者に通告しても。）情報提供の場合、近親者との相談も大切にせざるを得ない部分もある。

第3回目

- ・今後も診療情報提供を続けてほしい。
- ・診療情報提供は病院全体で即実施してほしい。プライバシーに関する件は多少問題はあるが、希望者から実施したらどうか。実施段階で看護婦の事務的作業が負担とならないか心配。
- ・説明してもらうことで勘違いしていることがわかった。毎日看護婦から用紙をみせてもらったが、わかっていたので時々しか目に入らなかった。

V. 考 察

今回の調査では、1群と2群では「見たい時に提示してくれればよい」との回答が多数だったが、実際希望してくる患者はいなかった。ベットサイドに記録を置いた3群では「ベッドサイドで看護記録をいつでも見ることができるようにあるとよい」が多数だった。この結果から実際に看護記録を見ることで情報について知る機会となり、情報を求めようとしてきているのではないかということが推測される。「看護計画や看護記録をベッドサイドにおき情報提供した場合、プライバシー保護の面から不安はあるか」については、3群で不安感が少ないことから、我々医療従事者が予測するほど患者は記録をベッドサイドにおくことに対し不安に思っていないと考えられる。

ベッドサイドに記録をおくことは患者が診療計画や病状を知り、医療に参加してもらう手段として有効だと思われる。しかし、ベッドサイドに看護記録をおいた患者の中にも「見たい時に提示してくれればよい」との意見もあるため、情報提供にあたっては患者と十分に話し合い、必要な時期に患者・家族が受け止められる内容と方法で行う必要があると言える。

「看護婦はあなたの意見や希望をとり入れたか」「看護婦は計画の内容とその結果について評価する時間を設けたか」の問いでは、情報提供者としては2群・3群の患者に対しパスの確認を毎日するなど力を入れて実施したが、患者の評価は低かった。情報を得ることで患者の求めるものがより高くなっているのでは、という見方もできる。「今回の看護における情報提供は治療や看護を受ける上で役立ったか」については、3群では、役立たなかったとの回答はなかった。情報提供していくことで患者の看護者に求めるものは高くなる可能性があるが、情報を提供し共有していくことは患者が健康問題に関心を持ち治療に主体的に取り組むきっかけとなるとともに、看護者の意識の向上にもつながると考える。しかし「医療に対する自己決定につながる情報提供になっているか」については今後の課題である。

VI. 結 論

1. 患者の求める情報提供は、看護婦の情報提供の方法により変化する。ベットサイドに記録を

置く方法は効果的な一方法である。

2. ベットサイドに記録を置く方法で、プライバシーの不安が増すことはなかった。

参考文献

- 1) 日本看護協会：看護記録開示に関するガイドライン整備 看護記録の開示に関するガイドライン（解説／特集），看護52（7），191～121，2000
- 2) 日本看護協会：看護をめぐる意識調査，日本看護協会調査研究報告書，41，1993
- 3) 日本看護協会：患者への診療情報提供に関する調査，日本看護協会調査研究報告，60，2001
- 4) 森田孝子：「患者参加」看護計画・記録は患者とともに，看護52（7）97～102，2000
- 5) 山田聡子：「患者参加」により活きた看護計画にするために，看護技術，44（5），23～27，1998
- 6) 林芳樹：「参画理論」からみた看護計画への「患者参加」，看護技術，44（5）18～，22 1998
- 7) 角館恭子他：患者と共有する看護計画開示の有効性，看護管理30，72～74，1999
- 8) 最賀吉代：患者に見られる記録作成の効果，看護52（7），45～48，2000
- 9) 石井律子他：看護計画開示の有効性の検証，看護管理30，69～71，1999

「診療情報提供に関するアンケート調査」へのご協力をお願い

近年、情報の開示が重要視されています。病院においても患者様が診療上の情報を正確に受け止め、自己決定することが重要と思われます。そこで、今回私どもは入院されている患者様にアンケートをお願いし、患者様が求める診療情報提供とは何かを知り、今後の診療情報の提供に活用したいと考えています。この調査において個人のプライバシーが外部にもれたり、治療の上で不利益になることは決してございません。何卒率直なご意見でのご協力のほどよろしくお願いいたします。

信州大学医学部附属病院

東6病棟看護婦 中野和美 春日潤子 長田万里 近藤良江 高山洋子
山村香織 山田真理 薨和美 樋田敦子
婦長 根井きぬ子

*回答は、該当するものに○をつけてください。自由に記入する回答は、()内にお書きください。

I. 答者ご自身のことについて伺います。

Q 1 年齢をお答えください。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

Q 2 性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

Q 3 ご職業をお答えください。

1. 公務員 2. 会社員 3. 自営業 4. 主婦 5. 学生
6. 無職 7. その他 ()

Q 4 過去の入院経験についてお答えください。過去の入院回数 (回)

II. 診療情報提供についてのお考えをお聞かせください。

Q 5 下記にあげる診療情報のうち知っているものに全て○をつけて下さい。

- () 診療録 (カルテ)
() 検査結果 (レントゲン・採血結果など) .
() 処方箋
() 看護記録
() 診療報酬
() 内服指導記録
() リハビリ記録
() 栄養指導記録

Q 6 診療情報を得る為に必要と思われるものは何ですか? 必要と思われる順番に番号をつけてくだ

さい。

- () 診療録 (カルテ)
- () 検査結果 (レントゲン・採血結果など)
- () 処方箋 *処方箋とは 点滴や内服などの医薬品について記載した文章
- () 看護記録
- () 診療報酬 *診療報酬とは 診療に対して保険者が診療報酬支払い基金などを通じて支払われる料金
- () 内服指導記録 *内服指導記録とは 薬剤師による内服指導記録
- () リハビリ記録 *リハビリ記録とは 理学療法や作業療法などリハビリの記録
- () 栄養指導記録 *栄養指導記録とは 栄養士による食事指導の記録
- () その他 ()

● Q 7 診療情報の提供について希望される方法について伺います。

あてはまるもの一つ○をつけてください。

1. 口頭による説明だけでよい
2. わかりやすい文章をつくって渡す
3. わかりやすい文章をつくり、それをもとに説明する
4. 診療記録を実際に見せながら口頭で説明する
5. 口頭で説明し、記録のコピーを一緒に付ける
6. その他 ()

III. 看護記録についてのお考えをお聞かせ下さい。

Q 8 看護記録にはどのような情報が書かれていると思われますか。書かれていると思われるものに全て○をつけてください。

- () 病状の経過 () 病状の説明内容
- () 測定値：体温・脈拍・血圧等 () 内服薬
- () 検査結果 () 注射薬
- () 看護の方針 () 看護の方法
- () 看護の評価 () 医師の指示
- () 自分の訴えや症状についての看護婦の考え
- () その他 _____

● Q 9 必要と思われる看護情報を5つ選び必要な順番に番号をつけて下さい。

- () 病状の経過 () 病状の説明内容
- () 測定値：体温・脈拍・血圧等 () 内服薬
- () 検査結果 () 注射薬
- () 看護の方針 () 看護の方法
- () 看護の評価 () 医師の指示

- () 自分の訴えや症状についての看護婦の考え
() その他 _____

Q10 今までに看護記録をご覧になったことがありますか。

1. はい 2. いいえ

Q11 看護記録をみたいと思いますか。

1. はい→Q12へ 2. いいえ→Q13へ



Q12 最も当てはまる理由一つに○をつけてください。

1. 体温・脈拍・血圧などの測定結果を知りたい
2. 自分の訴えや症状についての看護婦の考えを知りたい
3. 当然の権利
4. 看護婦の看護方針を確認したい
5. 検査結果を知りたい
6. その他 ()

Q13 最も当てはまる理由一つに○をつけてください。

1. 治療や看護は医師や看護婦に任せている
2. 専門用語などあり見ても分からないと思う
3. 知る事で不安になる
4. その他 ()

Q14 看護計画を立てて実施していることを知っていますか。当てはまるものに一つ○をつけて下さい。

1. 知っている 2. 知らない

Q15 看護計画はどのように立て実施して欲しいと思われますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。

1. 看護婦が計画を立て実施
2. 看護婦が医師と相談し計画を立て実施
3. 看護婦が計画を立ててから患者に相談し実施
4. 看護婦が医師と相談して計画を立ててから患者に相談し実施
5. 患者と看護婦が最初から相談し計画を立て実施
6. 患者と医師・看護婦が最初から相談し計画を立て実施
7. その他 ()

Q16 看護における情報提供（看護計画や看護記録の提供）はどのように行ってほしいですか。あて

はまるものに一つ○をつけてください。

1. 患者本人が見たいと言ったときに提示してくれればいい。
2. ベッドサイドに置きいつでも見られるようにしてあるといい。
3. その他 ()

Q17 看護計画や看護記録をベッドサイドに置き、情報提供した場合、プライバシーの保護の面から不安がありますか。あてはまるものに一つ○をつけてください。

1. とても不安
2. やや不安
3. あまり不安でない
4. 不安でない

IV. 今回の入院における情報提供についてお答え下さい。あてはまるものに一つ○をつけてください。

Q18 治療計画・看護計画の書かれている用紙をどのように利用しましたか

1. 説明を受けた時は見たが、その後は見なかった
2. 計画通りになっているか時々見た
3. ほぼ毎日見て確認した
4. その他 ()

Q19 用紙に書かれている予定（計画）について看護婦と話し合ったことがありますか。

1. はい
2. いいえ

Q20 看護婦はあなたの意見や希望を計画の中に取り入れましたか。

1. はい
2. いいえ

Q21 看護婦は用紙に書かれてある計画にそって看護ケアを行いましたか。

1. はい
2. いいえ

Q22 看護婦は計画の内容とその結果について評価する時間を設けましたか。

1. はい
2. いいえ

Q23 今回の看護における情報提供（看護計画・看護記録）は、治療や看護計画を知る上で役立ちましたか。

1. とても役立った
2. 役立った
3. どちらとも言えない
4. あまり役立たなかった
5. 役立たなかった

Q24 診療情報提供についてのご意見・御感想をお書き下さい。

ご協力ありがとうございました

Q1年齢 (表1)

	1群	2群	3群
10歳代	0%	0%	0%
20歳代	7	0	0
30歳代	0	6.3	0
40歳代	7	6.3	0
50歳代	21	18.6	10
60歳代	43	56.2	40
70歳代	14	18.6	35
80歳代以上	7	0	15

Q2性別 (表2)

	1群	2群	3群
男性	36%	56%	70%
女性	64%	44%	30%

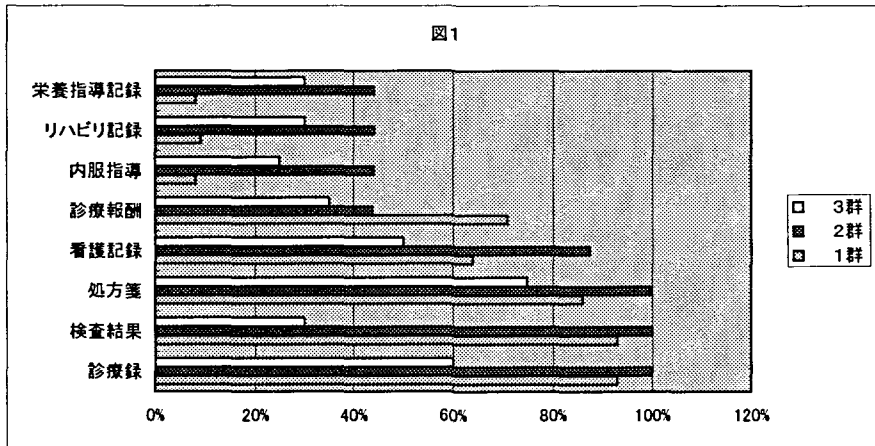
Q3職業 (表3)

	1群	2群	3群
公務員	14%	6.00%	0
会社員	21	19	25
自営業	14	0	20
主婦	21	25	15
学生	0	0	0
無職	7	50	40
その他	21	0	0

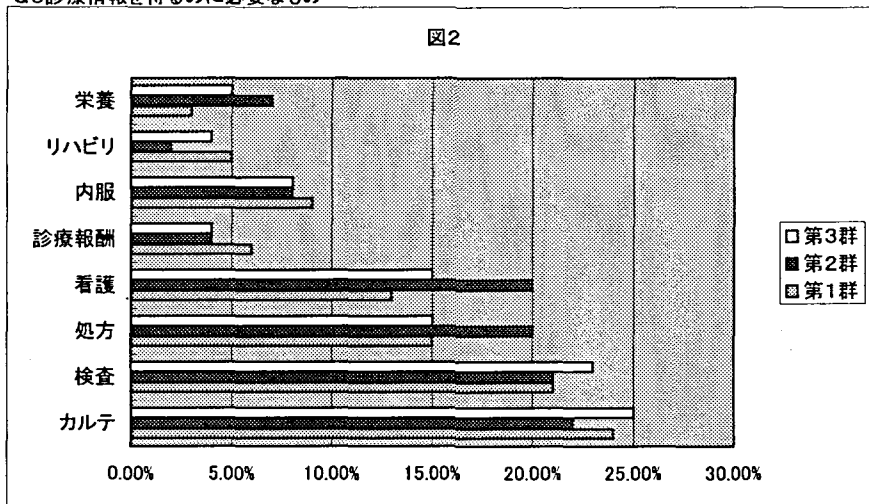
Q4過去の入院回数 (表4)

	1群	2群	3群
0回	14%	0	0
1回	36	37	30
2回	14	25	10
3回	0	12	25
4回	14	6	15
7~8回	0	12	5
15回	0	6	5
無回答	21	0	5

Q5診療情報のうち知っているもの



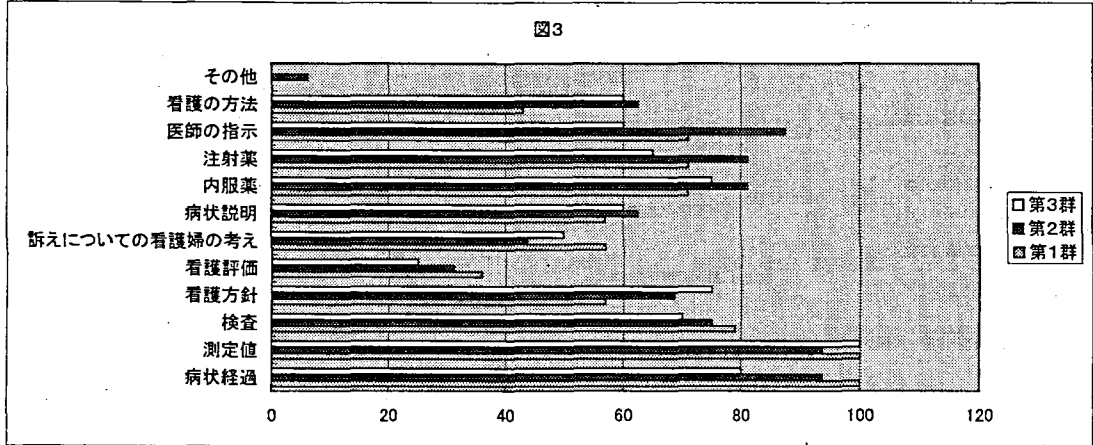
Q6診療情報を得るのに必要なもの



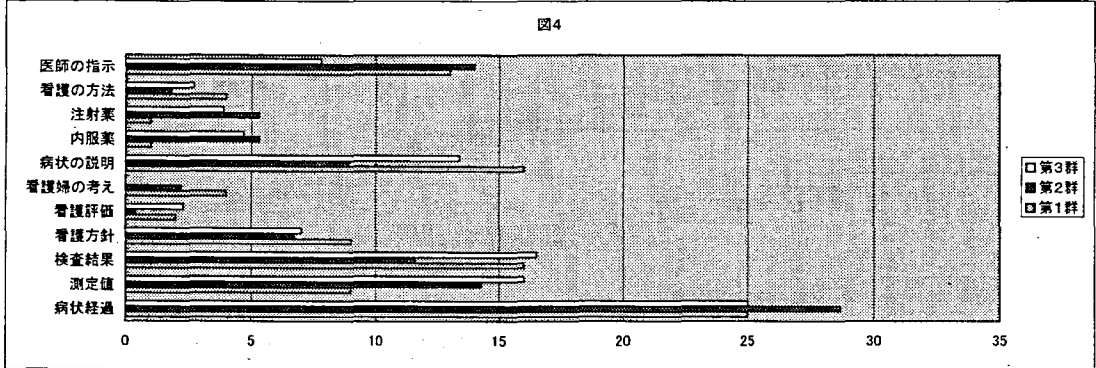
Q7診療情報提供について希望される方法 (表5)

	1群	2群	3群
口頭のみ	7	18.7	10
文章	0	6.3	0
文章と説明	36	18.7	25
診療記録と説明	21	31.2	30
説明とコピー	36	25	35
その他	0	0	0

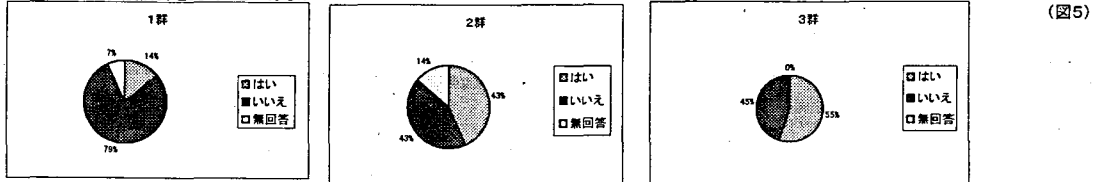
Q8看護記録に書かれていると思われるもの



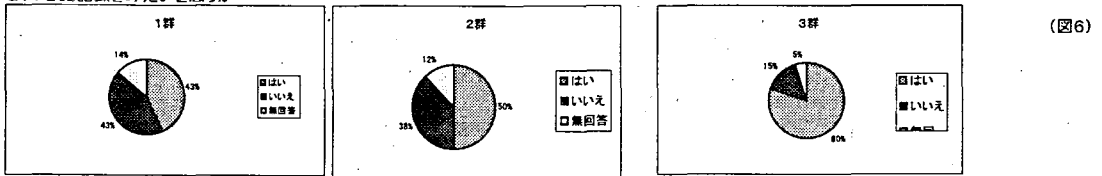
Q9必要と思われる看護情報



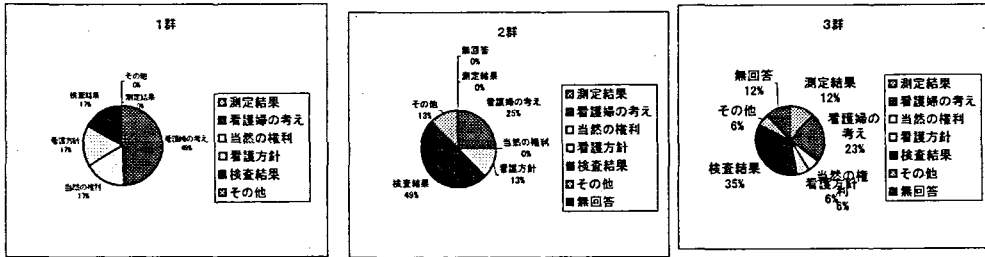
Q10今までに看護記録を見たことがあるか



Q11看護記録をみたいと思うか

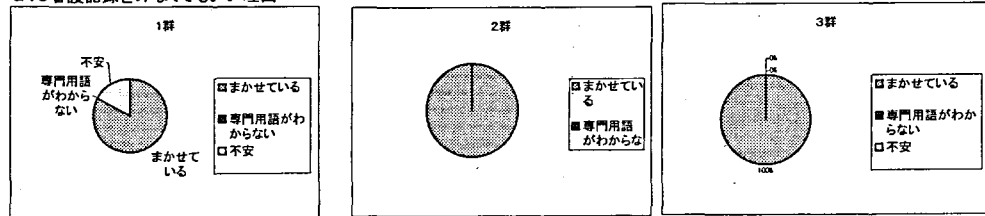


Q12看護記録を見たい理由



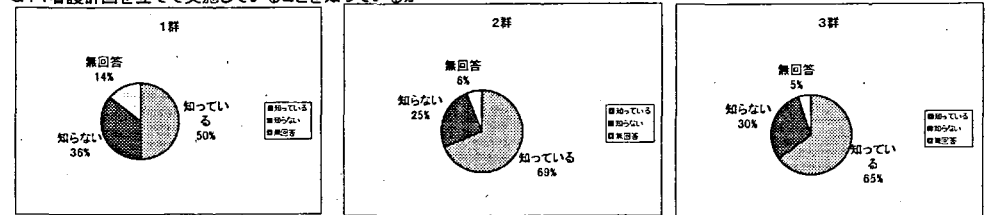
(図7)

Q13看護記録をみなくてもいい理由



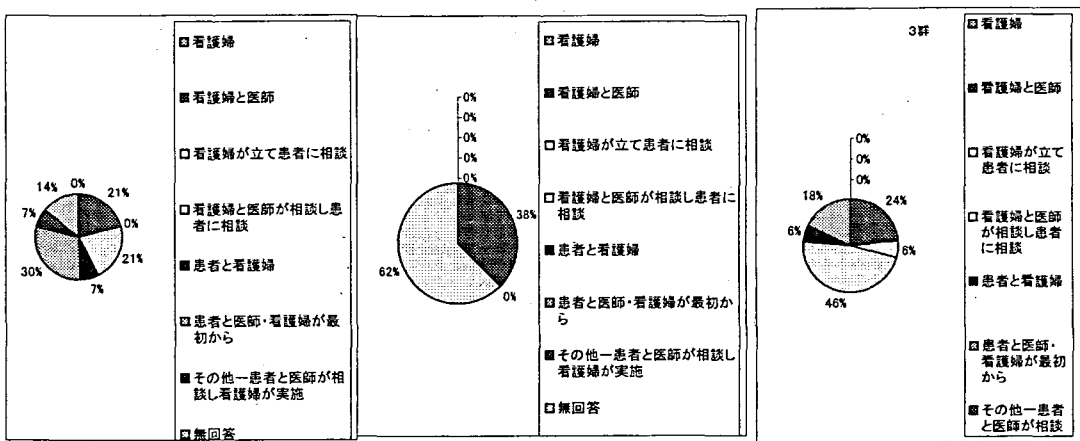
(図8)

Q14看護計画を立てて実施していることを知っているか



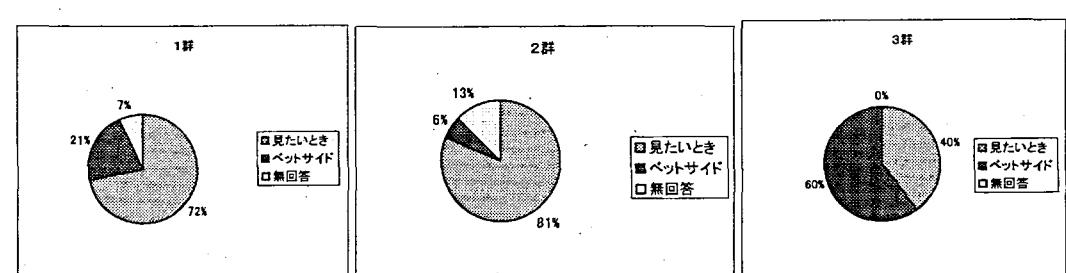
(図9)

Q15看護計画はどのように立てて実施してほしいか



(図10)

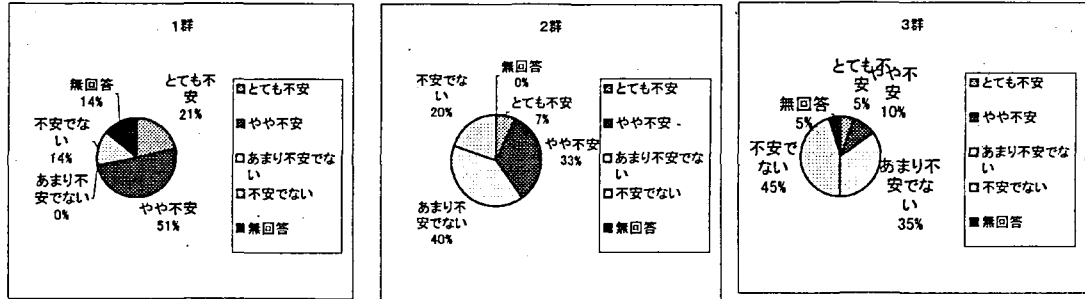
Q16看護における情報提供はどのように行ってほしいか



(図11)

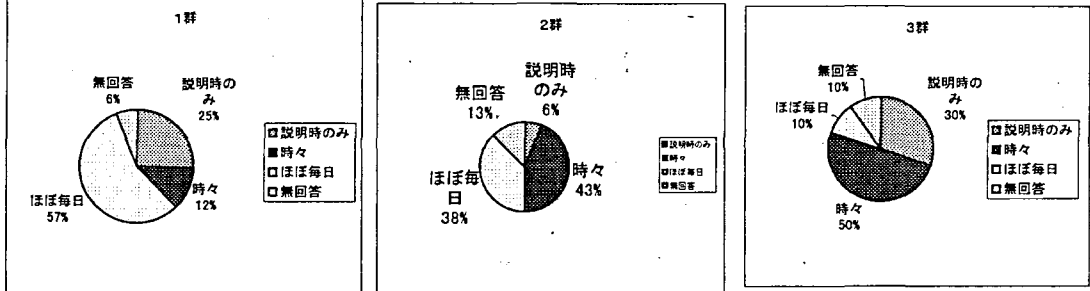
Q17ヘルプサイトに置いたときプライバシーの保護の面から不安があるか。

(図12)



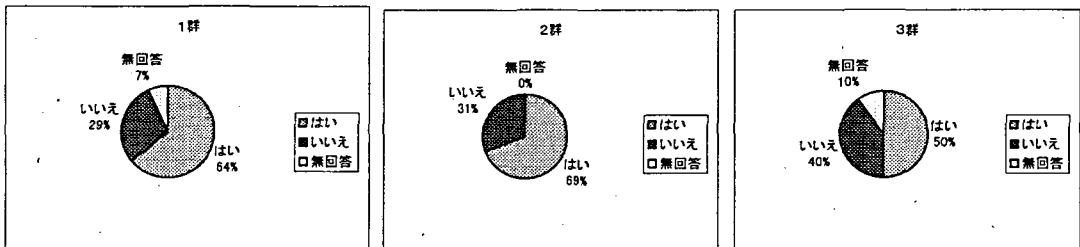
Q18治療計画・看護計画の書かれている用紙をどのように利用しましたか

(図13)



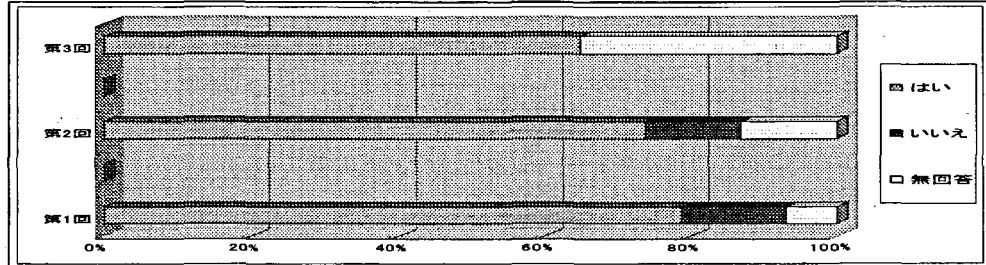
Q19用紙に書かれている予定について看護婦と話したか。

(図14)



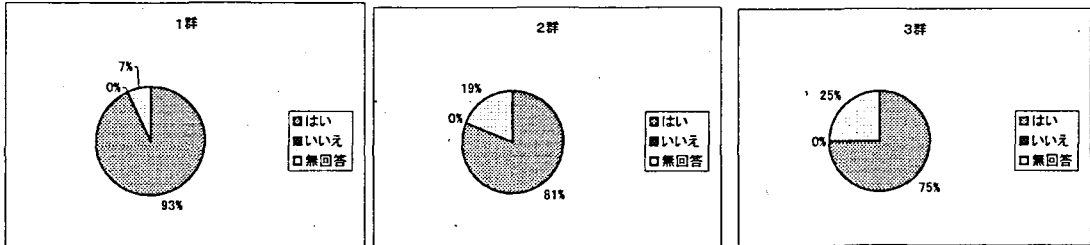
Q20看護婦はあなたの意見や希望を計画に取り入れたか。

(図15)



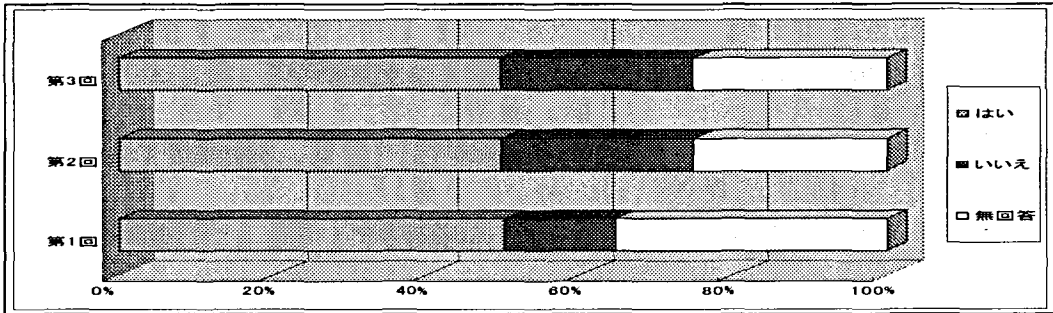
Q21用紙に書かれている計画に沿って看護ケアをおこないましたか。

(図16)



Q22評価する時間を設けたか。

(図17)



Q23看護における情報提供は治療や看護計画を知る上で役立ちましたか。

(図18)

